

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立桃山高等学校 】

<スポーツ庁テーマ>

1 実践テーマ	【 III 】
2 実施対象者	第1 学年359名 第2学年346名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 保健体育 ) ② 行事名 ( ) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目 標 (ねらい)	1 マイナスの感情に向き合い、乗り越えようと思う精神力を培う 2 多様性を認め、創意工夫をすれば、誰もが同じスタートラインに立てることを気づく力を育成する。
5 取組内容	1 第1 学年で、体育理論領域「運動・スポーツの文化的特徴」において、パラリンピックについて学習し、ボッチャを体験する 2 第2学年においてボッチャを体験する。 3 事後アンケートの実施(第1 学年対象)
6 主な成果	共生社会を具現化するための重要なヒントが詰まっているため、社会の中にあるバリアを減らしていくことの必要性や、発想の転換が必要であることに気づくことができた。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	「ボッチャ」を大会形式で下記の通り実施した。  1 目 的 誰もが参加できるボッチャ競技を通して生涯競技スポーツへの志向意欲をより高めるとともに、スポーツを通して心身の健全な発達、生きがいのある豊かな生活の実現等を目指す。  2 日 時 (1) 1 年生 令和2 年 12 月 21 日(月)・23 日(水) (2) 2 年生 令和2 年 12 月 22 日(火)・24 日(木)  3 場 所 京都府立桃山高等学校 体育館(6 面)

	<p>4 競技方法および競技規則</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各クラス6チーム編成(男女別、混合は問わない)で行う。</li> <li>(2) 6人チーム(リザーブは外数)で行う。</li> <li>(3) チームごと一人ずつスローイングBOXに入って投球する。</li> <li>(4) 3チームリーグ戦で行い、2ラウンド6人のスローが終了した時点での得点を競う。</li> <li>(5) 2ブロック編成で予選リーグと決勝リーグを行う。</li> <li>(6) 競技は学校指定の体操服で参加する。</li> </ol> <p>5 その他</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 当日欠席の場合は、参加人数が6人に満たない場合は、クラス内で補充できる。</li> <li>(2) 担任・教科担当をチームに入れることができる。</li> <li>(3) 更衣は体育の指定されている場所で行うこと。</li> <li>(4) 貴重品は必ず体育担当者へ預けること。</li> <li>(5) マスクは必ず着用し、競技後は必ず手指洗浄等を行うこと。</li> <li>(6) 第1学年のみアンケートを実施する。</li> </ol>
<p>8 主な課題等</p>	<p>コロナ感染により、2年次での学校行事(球技大会)において、地域及び、特別支援学校との交流を図ることができなかった。</p> <p>また、本来予定していた、体育館と武道場の10面を作成し個々が体験できる時間を確保することができなかった。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>単年度で終わることなく、体育理論領域「運動・スポーツの文化的特徴」において、パラリンピックについて学習させる。また、第1学年においてボッチャを体験させ、2年次では学校行事において、地域及び、特別支援学校との交流を図りたい。</p>

